

だんだん暖かくなつてきましたね 桜が見ごろを迎えます 2020 No.251



毎月 18日は「3食ごはんの日」
3食しっかり食べて ウイルスに負けない体づくりを!



第2回とちぎ小江戸ブランド小中学生調理レシピコンテスト

特 集

しもつけ



県内初・100名を超える県GAPを取得… 2

第5期女性大学を振り返る… 3

特集

第5期女性大学を振り返る

今期は管内の女性32の方にご参加いただき、2018年7月から全10回の活動を実施。クラフトバッグづくりや草木染教室など、地域農業や地産地消をテーマにした講座などを体験していただきました。今期の活動の様子を、ダイジェストにして振り返ります。

2018
7/10 開講式・
ポーセラーツづくり

藤岡地区女性会の田中博子さんが講師を務め、ティーカップやスープカップなど好きな形の白磁を選び、思い思いのデザインで作品を完成させました。



健康体操教室

2018
11/12

講師に高田英子さんを招き、ゆっくりとしたリズムで笑いヨガや脳トレも交えた健康体操を行いました。元気な声で合唱しながら体操することで自然と笑顔になり、参加者同士の交流の輪を広げました。

2019
5/16 野菜作り教室
(ミニトマト)

J A 岩農指導員が苗の定植方法を説明後、プランターに定植しました。定植した苗は、自宅に持ち帰り、取れたてのミニトマトを味わいました。



2020
2/20 閉講式・
郷土料理づくり

荒川葉子女性会長を講師に迎え、郷土料理のすいとんづくりなどに挑戦しました。その後、各地区的女性会長とともに懇談会を実施。楽しい時間を過ごしました。

参加者のコメント



- ・普段できない経験や料理をすることができとてもよかったです
- ・初めて会った人とも楽しくできました
- ・すべてが楽しくよい経験になりました。また、参加したいです

県内初・100名を超える県GAPを取得

壬生町苺出荷組合



とちぎGAPを取得した壬生町苺出荷組合と関係者ら

○梁島組合長のコメント

「認証を取得できたのは、多くの関係者と組合員が一体となり取り組んだ成果。認証取得を機会に、生産者が丹精込めて作った安全・安心なおいしいイチゴを全国の消費者に届けたい」と意気込みを話しました。

引き続き消費者や市場への安全安心を発信するとともに栃木県のイチゴのさらなるブランド化を目指します。

壬生町苺出荷組合が農業生産工程管理(GAP)認証の県版制度『とちぎGAP』を取得しました。1月30日、「とちぎGAPの第三者確認証」の交付式がJAしもつけ壬生地区営農経済センター集荷場で開かれ、同組合員や行政、関係機関、JA役職員ら約60人が出席。同組合の梁島源智組合長が県下都賀農業振興事務所の南木好樹所長から確認証を受け取りました。100名を超える登録は県内で初めてとなります。

Contents

JALしもつけ 3月号 2020.3

251
No.

2	県内初・100名を超える県GAPを取得	11	直売所通信
3	特集 第5期女性大学を振り返る	12	あなたもチャレンジ!家庭菜園
4~5	営農トピックス	13~15	しもつけインフォメーション
6~7	みんなのひろば	16	今月のお楽しみ
8~9	しもつけトピックス		
10	しもつけ文芸		

しもつけ共励会で最優秀賞に松本清作さん

=JAしもつけ肉牛部会=



表彰される松本さん

受賞者	
● 優良賞	松本 清作
● 優秀賞	田村 正明
● 優良賞	工藤 猿山
● 優秀賞	芳昭 光佳
(敬称略)	

J Aしもつけ肉牛部会は1月30日、栃木市で第21回枝肉共励会褒賞式を開きました。最優秀賞と優良賞の両方を受賞した松本清作さんを始め、入賞した5人を表彰しました。

共励会は、16人の生産者が、黒毛和種24頭、交雑種9頭の計33頭を出品。昨年12月10日に審査を実施しました。

本格出荷前に春トマトの目ぞろえ会

=JAしもつけ壬生トマト部会=



トマトの目合わせをする生産者ら

J Aしもつけ壬生トマト部会は2月12日、壬生地区経済農業振興部会にて春トマトの目ぞろえ会を開きました。JAしもつけJA担当者が選別基準や調整内容を説明した後、サンプルを用いて市場関係者と意見を交わしました。参加者は6月まで続く出荷に向けて選別基準を確認。出荷規格を検討した結果、カラーチャート市場着No.8を申し合わせました。また、1箱内の熟度の統一を図り、オセ玉・軟化玉の混入などの注意を呼び掛けました。

JAしもつけ農業協同組合 経済店舗休日営業の変更のお知らせ

経済店舗の休日営業につきましては、農閑期を除き土日祝祭日休まず営業しておりましたが、令和2年3月より土曜日のみ営業となり、日曜祝祭日は休業とさせていただきます。

組合員の皆さまには何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を願い申し上げます。

なお、日曜日のご利用が多い組合員の方には、地区センターで個別対応をさせていただきますので、ご相談ください。

●休日の営業

令和2年3月より：土曜日のみ営業
(日曜祝祭日は休業となります。但し、土曜日が祝祭日の場合は営業となります。)

いちごのイチゴを PR

販売促進イベント開催

=栃木・大平が山形で合同PR=



上杉雪灯籠まつりでしもつけ管内のイチゴをPRしました

=栃木苺部会
・大平町苺生産出荷組合=

2月7日から9日にかけて、栃木苺部会と大平町苺生産出荷組合の役員、生産者、JA職員らが消費地である山形県米沢市で栃木県産「とちおとめ」の試食宣伝会を開きました。

市内の量販店で生産者による手詰め実演販売や米沢市長への表敬訪問、第43回上杉雪灯籠まつりでの試食宣伝で魅力をPRしました。

=JAしもつけ農業協同組合 栃木市と壬生町の小中学校へイチゴ贈呈=

=食育応援事業=



大川市長から感謝状をいただきました

小菅町長(右)にイチゴを手渡す神永組合長(左)

=JAしもつけナス部会=



表彰される高岩さん(左)

J Aしもつけナス部会は2月18日、栃木市で第12回通常総会を開きました。協議では、令和元年度事業報告・収支決算、令和2年度事業計画・収支予算、役員改選の承認がされました。前期に引き続き、青木榮二さんが部会長に就任しました。

また、総会に併せて、夏秋ナス立毛共進会の表彰式が行われ、最優秀賞に都賀支部の高岩繁實さんが表彰されました。

「とちぎ小江戸ブランド」でみんなの レシピコンテスト開催

栃木地区農業教育連絡協議会は2月15日、県立栃木農業高校で「第2回とちぎ小江戸ブランド小中学生調理レシピコンテスト」の最終審査会を開きました。

同コンテストは、市が認定する「とちぎ小江戸ブランド」を通じて、知名度の向上や食育の推進を目的に昨年度から始まりました。

1月までの応募期間内に12件の応募があり、その内の小学生4人が栃農生のサポートを受けながら1人1作品を調理。とちぎ和牛を使用した「げんきボール」など工夫を凝らしたレシピを1時間以内に完成させました。審査委員長を務めたJAしもつけ神永信男組合長をはじめ、市職員、同校生徒ら8人が料理を試食し審査しました。

審査の結果、市産のとちおとめや季節の花の蜂蜜を使ったミルフィーユを作った市立栃木第4小学校4年の伊部愛理さんの作品が最高点を獲得しました。



受賞式のあとに記念にパシャリ



最優秀賞に選ばれた伊部さんの作品

読者からのお便り



都賀/A.Sさん/60歳/女性

J Aしもつけクイズ2020に初めて挑戦してみました。なんと特賞が当たりました。すごく嬉しかったです。郵送してくれるそうで、楽しみです。ありがとうございました。

コメント

A.Sさん特賞おめでとうございます！賞品はもう使っているでしょうか？外れてしまつた方、次回の開催のときにはぜひひご応募ください！

新型コロナウイルス対策 感染しない予防と、悪化しない体力づくり



藤岡/W.Kさん/9歳/女性

いろいろなレシピやニュースが載っていてよかったです。

コメント

お便りありがとうございます。みなさんに楽しんでいただけるような広報誌づくりをこれからも頑張っていきます！

藤岡/M.Mさん/74歳/女性

新型コロナウイルスが世界で大変なことになっていて、早く薬ができるようになってほしいです。

都賀/S.Sさん/69歳/女性

とうとうオリンピックが近づいてきました。今、コロナ肺炎が世界中を騒がしています。早く終息するよう祈ります。

コメント

今回、新型コロナウイルスに関するお便りがたくさんきておりました。編集後記でも書きましたが、インフルエンザと同じような予防対策を行いましょう。まずは、自分と家族の対策の徹底です。

ひろば

栃農生が JGAP認証とMPS認証を取得！

県立栃木農業高校は、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる日本版農業生産工程管理（J G A P）と、農薬や肥料、エネルギーをできるだけ削減し、環境と安全に配慮する花き栽培の国際認証M P S - A B C（花き産業総合認証環境部門）をそれぞれ取得し、1月下旬、同校で認証式が行われました。J G A P 認証は、県内の高校では宇都宮白楊高校に続き2例目、イチゴでは県内農業高校では初。また、M P S 認証は国内の農業高校では初の快挙となります。



JGAP認証を受けた生徒

●JGAP認証に取り組んだ生徒のコメント

今までの努力が実りました。引き続き管理を行い、2年生にしっかり引き継ぎをして、より安全で安心な農作物を作るための取り組みを続けていきたいです。



MPS認証を受けた生徒

●MPS認証に取り組んだ生徒のコメント

M P S に取り組むことは、国内外競争力の強化や地球環境の保全に大きな意味を持ちます。後輩たちがこの取り組みを継続して、地域社会に発信してほしいです。

壬生/Y.Iさん/77歳/女性

家庭菜園が毎月楽しみです。季節に合った野菜の種まき、作り方、収穫がよくわかります。上手に出来るようになりました。

コメント

Y.Iさんお便りありがとうございます！これからも、皆さまのお役に立てる情報を掲載できるようにしていきます。また、こんな情報も欲しいなどありましたらぜひお便りにお書きください！

壬生/Y.Yさん/63歳/女性

先日、直売所「いなばの郷」から友人にいちごを送ったところ「甘くてとてもおいしかったよ」と、とても喜んでいただきました。

コメント

直売所をご利用いただきありがとうございます！また、ご友人が喜んでいたとき嬉しい思います！

栃木/Y.Sさん/67歳/女性

我が家では、冬はストーブを使った煮込み料理作ることが多いです。骨付きとり肉をコトコト煮込んで冬野菜をたっぷり入れて、コンソメを入れた野菜スープとってもおいしいですよ。残ったスープにカレー粉を入れうどんをいれるとカレーうどん。最後は牛乳を入れてチーズとごはんを入れてリゾット風に3度楽しめます。

コメント

Y.Sさんのお便りを見ていてお腹が鳴つてしまいそうです！味がしみ込んだり肉と野菜のスープやカレーうどん…ぜひ食べてみたいてす。

このコーナーでおしゃべりをしませんか。農作業のこと、子育てのこと、介護のこと、またJAについてのご意見など、今感じていることや思っていることをお便り下さい。（掲載できない場合もあります）



読者からのお便り

広報誌モニター任期満了

1年間にわたり貴重なご意見
ありがとうございました

広報誌「しもつけ」は、組合意識の高揚や組織の結束強化を図り、経営のディスクローラーなどJAの信頼感・存在意義を高めることを目的に発行しています。

J Aでは「読まれ・親しまれ・活用される」より良い誌面作りを目指し、各支店から2名の組合員代表を選出し、合計14名の「広報誌モニター」を委託しています。3月1日から翌年の2月末までの1年間、毎月の誌面についてアンケートを実施し、率直な意見要望、情報等を提供いただきました。ご協力いただきましたモニターの皆さんに改めてお礼を申し上げます。

広報誌モニターの皆さんよりいただいた貴重なご意見を今後の誌面作りに活かして行ければと思います。

**JA特選
グルメ直行便発布会**

北の旬・南の幸 味の競演

**まとめてお得な
新鮮素材の
2あわせ便&
スペシャル便**

1年分(12商品分)で、
年会費は46,656円(送料・税込)

2ヵ月に1度、年6回、ご自宅までお届けするお得な発布会!

販売元 **しもつけ**

栃木地区営農経済センター TEL:(0282)27-7771

都賀地区営農経済センター TEL:(0282)27-5792

壬生地区営農経済センター TEL:(0282)82-2981

大平地区営農経済センター TEL:(0282)43-0803

藤岡地区営農経済センター TEL:(0282)62-4336

岩舟地区営農経済センター TEL:(0282)55-5518

*お申込み・お問い合わせは上記営農経済センターへお願いします

■発布期間
2020年6月から年6回(各偶数月)
ご入会、受付締切は
4月30日(木)



輪投げをしてたのしました



参加者は十八番を披露しました



上手にねがられたかな

○「女性のつどい」を開催しました

2月13日、壬生地区営農経済センターで壬生地区女性会の「女性のつどい」が開催されました。家の光記事活用体験発表会員やJA職員31人が参加しました。増田弘美さんが「JA女性会と私」と題して、女性会に入れるまでの経緯や活動などを聞きました。また、エンジヨイハイモニカによるハイモニカ演奏では、ハイモニカの優しい音色に合わせて「北国之春」や「四季の歌」などを熱唱しました。その他、園芸教室やいきき健康体操を行い交流を深めました。



ハイモニカの演奏に合せて歌い楽しみました

○自動化トラクターを実演／県下都賀農業振興事務所



自動化トラクターによる耕起作業の実演を見守る参加者

講義終了後、近隣の圃場(ほじょう)で自動化トラクターによる耕起作業の実演と体験を行い、参加者は真剣なまなざしで見つめていました。

月21日、小山市の県農業共済組合県南支店で「令和元年度アグリマネジメントセミナー(土地利用型部門)」を開きました。管内の認定農業者や行政、JA関係者ら約70人が参加。収益性の高い大規模水田農業経営の実現に向け、先端技術を活用した「スマート農業」について理解を深めました。

県下都賀農業振興事務所は1月21日、小山市の県農業共済組合県南支店で「令和元年度アグリマネジメントセミナー(土地利用型部門)」を開きました。管内の認定農業者や行政、JA関係者ら約70人が参加。収益性の高い大規模水田農業経営の実現に向け、先端技術を活用した「スマート農業」について理解を深めました。

直売所通信



J Aしまつけ管内で農家さんが丹精込めて育てたおいしい農産物を食卓へお届けする直売所の旬な情報をお伝えします。

全店舗共通

春のお彼岸フェア

開催期間：3月20日（金）～22日（日）

地場産品を中心に新鮮野菜・果物、お彼岸に必要な切り花や食材を豊富に取り揃えております。ぜひ、直売所にご来店ください。

詳細は、店頭またはJAしまつけホームページでご確認ください

春のお彼岸フェアは、全品ポチカポイント3倍！



春・夏播き野菜栽培講習会中止のお知らせ

3月17日（火）に開催を予定しておりました春・夏播き野菜栽培講習会につきましては、新型コロナウイルス感染者の蔓延防止のため、中止することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

ご参加予定の皆さまには、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。



開店時間変更のお知らせ

3月1日より大平「愛菜果」の営業時間が下記の通り変更となります

9:30～18:00→9:00～18:00 ご来店お待ちしております。

イチゴの日を実施しま
4月までの毎月15日 限定!!
15日はイチゴの日！甘くて美味しいイチゴを通常よりもお買得価格で購入できますので、ぜひ直売所でお買い求めください。

3月の
ポチカ
ポイント3倍デー
3月11日(水)・14日(土)
3月25日(水)・28日(土)

ひもつけ文芸

俳句

秋風に甘き香りの山女かな
牛久仁一（都賀）

石井信一（藤岡）
森田フジ子（藤岡）

星の国銀砂（すな）の小舟で暝ねむりゆく
春待つや郷土氣質のしもつかれ

庭先のみかんの実にや目じろ来て
続き晴れ好期変化に春の雨

女学生子犬を肩に風光る
葱にまで白美人とはうらやまし
棟梁の耳にチビツ陽炎ひぬ
婆は愚痴猫に聞かせて日向ぼこ
孫に娘の面影あうと春の宵
春雷の人去るごとく去りにけり

飯島初枝
伊沢克明

世の隅に生きて小さき春を待つ
寒暖の厳しさ残る月尽
存ぐ生きて卒寿や鬼やらひ
結氷の川に漁る留り雑魚
炊きたての魚沼米や寒卵

田中政子
関塚トヨ子
橋木光歩
岩瀬とき子
館野操
大橋正義

着ぶくれてゲートボールの選手かな栢木光歩
金棒の鬼に泣く子の追儻ついなかな
着ぶくれて友との会話もれがち
全国の恐る肺炎春浅し
復興の両毛線や冬青

岡田照子
福田千代
佐藤榮江
知久新一

お迎えを祈りて過す日もすぎて何時しかいたゞ
く九十五才か 須藤里子（大平）
暁わたる庭木の枝に鈴生（すずな）れる小鳥
の群れの夕陽を浴びて 田島昭治（栢木）
暁では立春となり暖冬も三寒四温真冬に戻る
金子喜枝（大平）
怪我がもと悩める友の笑顔が光る赤飯ケーキコ
ヒ誕生会
鶏の黎明告げるコケコソコ聞えて育つた吾九十
二才
毛塚雪（都賀）
車椅子の妻頬笑（ほほえ）みてお替（かわり）と
差し出す汁椀マジに受けとる

田島歌子（栢木）
須藤里子（大平）
金子喜枝（大平）
怪我がもと悩める友の笑顔が光る赤飯ケーキコ
ヒ誕生会
永田良子（大平）
金子喜枝（大平）
怪我がもと悩める友の笑顔が光る赤飯ケーキコ
ヒ誕生会
永田良子（大平）
金子喜枝（大平）

筑波嶺の紫色や寒明くる
押入れに隠れて居たる余寒かな
ウイルスに足止めを食ふ春遅し
遠富士のオレンジに映ゆ春の暮

橋木光歩
大橋正義
熊倉三朗
佐藤榮江
岡田照子
福田千代
佐藤榮江
知久新一

晴れたる庭木の枝に鈴生（すずな）れる小鳥
の群れの夕陽を浴びて 田島昭治（栢木）
暁では立春となり暖冬も三寒四温真冬に戻る
金子喜枝（大平）
怪我がもと悩める友の笑顔が光る赤飯ケーキコ
ヒ誕生会
鶏の黎明告げるコケコソコ聞えて育つた吾九十
二才
毛塚雪（都賀）
車椅子の妻頬笑（ほほえ）みてお替（かわり）と
差し出す汁椀マジに受けとる

川柳

卒業や制服ゆるきオトナ顔
カタクリが五本増やして芽を出しぬ
夜桜歩くアベック八分咲き
上岡隆三（藤岡）

佐武朗（岩舟）
大橋正義
熊倉三朗
佐藤榮江
岡田照子
福田千代
佐藤榮江
知久新一

田島歌子（栢木）
須藤里子（大平）
金子喜枝（大平）
怪我がもと悩める友の笑顔が光る赤飯ケーキコ
ヒ誕生会
永田良子（大平）
金子喜枝（大平）
怪我がもと悩める友の笑顔が光る赤飯ケーキコ
ヒ誕生会
永田良子（大平）
金子喜枝（大平）

四月より長男夫婦入居せし優しき言葉に幸の
あるる 泉幸代（栢木）
玉葱の吊されている軒なれど友の住まわぬ家と
なりゆく 渡邊苑（栢木）
二人老いよろよろよろけびたんこときに息と
きにため息 石川トク（藤岡）
支えられ心体の教えは宝何気なく出す音読
の本 山川勝三（壬生）

安生ひでお（都賀）
安生ひでお（都賀）
泉幸代（栢木）
渡邊苑（栢木）
石川トク（藤岡）
山川勝三（壬生）

短歌

短歌・俳句・川柳の投稿は各支店または本店総務課まで
お書き下さい。（一人一首句）

地域高齢者の「いきがい」を
暖かな思いやりでサポートします
JAしまつけにおまかせください

居住介護

通所介護

訪問介護

JAしまつけ 経済部福祉課 ☎0282(20)8827
JAしまつけ 居宅介護支援サービス
JAしまつけ 訪問介護サービス
JAしまつけ デイサービスセンター「ひだまり」 ☎0282(81)0377
受付時間は午前8時30分～午後5時00分となっております。

JA共済からのお知らせ

R2.1月

自動車共済の 共済掛金の払込みは 便利な「口座振替」を ご利用ください!!

POINT 01 契約申込みの際、現金不要です。
キャッシュカードをご用意ください。

*1. 共済掛金口座振替依頼書によるお申込みもできます。その場合、
共済掛金口座振替依頼書の記入・押印(口座お届け印)が必要となります。
*2. JA以外の金融機関の口座をご指定いただくこともできます。
*3. 一部使用できないカードもあります。

POINT 02 さらに、自動継続特約を付加すると、
**自動車共済の共済掛金が
2%割引*となります。**

*次のすべての条件を満たした場合、共済掛金が2%割引になります。
・自動継続特約が付加されたご契約
・共済掛金の払込経路が口座振替払いのご契約
・特別割増・割引(資格審査契約を含みます。)が適用されていないご契約

※このチラシは概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

ぜひ、お得な割引制度をご利用ください!!

J A 共済
【19093010146】

J Aしもつけ
栃木駅前支店 0282-20-8821 王生支店 0282-82-1111
栃木東支店 0282-27-2525 大平支店 0282-43-2344
各支店窓口またはライフアドバイザー 栃木西支店 0282-31-1794 藤岡支店 0282-62-4333
へお気軽にお問い合わせください 都賀支店 0282-27-5611 岩舟支店 0282-55-3333

図1 苗作り

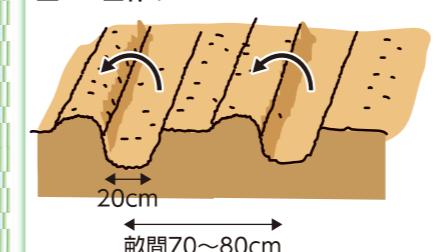


図2 植え付け

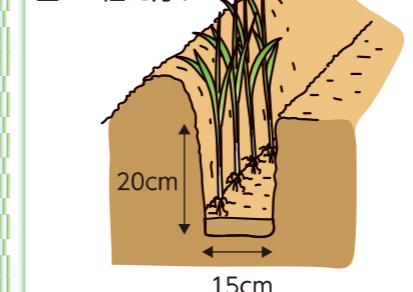


図3 追肥・土寄せ

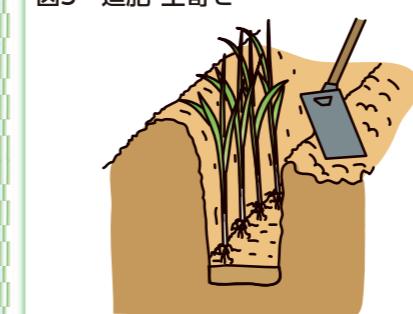
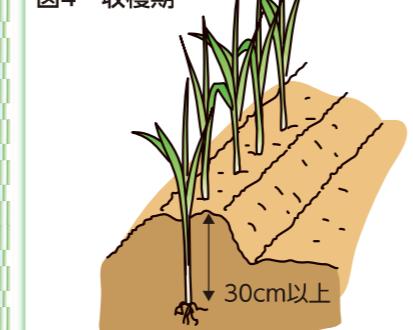


図4 収穫期



ネギの原産地は中国西部といわれ、中國では2000年以上歴史があり、日本でも最も古い野菜の一つです。特有の臭気はアリシンで、食欲を増進させる働きがあります。長ネギ(根深ネギ)は土寄せして根本に近い部分を30cm以上に軟白します。

「品種」「金長」(みかど協和)、「元蔵」(武藏野種苗園)など、新しい品種では「夏扇4号」(サカタのタネ)、「龍翔」(横浜植木)などが定評があります。

「栽培時期」春彼岸ころに種をまき、夏に植え付け、晚秋から冬に収穫する春まき栽培が一般的です。苗床となる場所に前もって、1平方m当たり苦土石灰100gを散布して耕しておきます。次に、畝間70~80cmとして、くわ幅の浅い溝を作り、ここに溝1m当たり化成肥料(N:P:K=10:10:10%)100gと堆肥1kgを施肥し、溝の土とよく混ぜておきます(図1)。

種は溝の全面に1~2cm間隔になるようばらまきし、覆土は1cm程度にします。芽が出そろつたら込み合う部分を間引き、1ヶ月ごとに溝1m当たり化成肥料20~30gを追肥します。30~40cmくらいに育つたら、苗の完成です。

「植え付け」春まきでは6~7月が植え付け期です。耕した直後では植え溝が崩れるので、平らにならした後、しばらくして溝を掘ります。畝間は90~100cm、溝は幅15cm、深さ20cmに掘り下げます。苗は5cm間隔に溝に並べて立て、根元に少し土を掛け、その上にわらや腐葉土を5~10cmの厚さに入れます。このときには化成肥料は与えません(図2)。

「追肥・土寄せ」植え付け1ヶ月目から1ヶ月ごとに3~4回畝1m当たり化成肥料を50gまで土寄せし、軟白部の長さ30cmを目標にします(図3)。

「収穫」最後の土寄せ後1ヶ月程度で収穫できます(図4)。

※関東南部以西の平坦地を基準に記事を作成しています。



長ネギ 小まめな土寄せで軟白を作り

園芸研究家・成松次郎



3月しちつけインフォメーション

第11回 理事会報告

《協議事項》令和2年1月29日(水)

- (1) 12月末実績検討について
- (2) コンプライアンス・マニュアルの改正について
- (3) 令和2年度事業計画骨子について
- (4) 令和2年度機構の一部見直しについて
- (5) 遊休事務所の処分方針について
- (6) 令和元年産コシヒカリの追加集荷について
- (7) 都賀ライスセンターの貯留bin火災に伴う費用支出
および補償金の受入について
- (8) その他

KyoyakuDHA&EPA

180粒(約30日分)…4,800円(税抜)



品質認証商品



健康維持に大切なn-3系脂肪酸の補給に役立つ健康補助食品。1日6粒でDHA600mg、EPA108mg、DPA23mgを摂取できます。ビタミンEの一種であるトコトリエノールもプラスしました。魚の摂取が不足している方、生活習慣の乱れが気になる中高年者、頭をよく使う方などに。

クミアイ家庭薬配置員・最寄のJA、または協同薬品工業(株)栃木営業所
電話:028-657-7310まで
お問合せ

おいしく食べて 今日もスタート

今月の朝ご飯 茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」オーナーシェフ 永井智一

シジミとセリのペンネ

材 料 (2人分)

ペニネ	100g
セリ	1束
オリーブ油	大さじ2
ニンニク	1片
シジミ	200g
水	2と1/2カップ
塩・こしょう	適宜

作 り 方

- (1) 鍋にオリーブ油とつぶしたニンニクを入れ熱し、ニンニクの香りが立ったらシジミと水を入れ強火にかける。
- (2) 途中あぐを取りながら4分の1ほどに煮詰める。
- (3) 鍋に塩を入れ沸かし、ペニネをゆでる。
- (4) ゆで上がったペニネを(2)に入れ、シジミのだしをしっかりと吸わせ、長めに切ったセリを入れ、塩・こしょうで味を調整出来上がり。

JAしちつけ年金友の会 グラウンドゴルフ大会

=開催日決定のお知らせ=

開催日は、2020年5月21日(木)に決定いたしました。
※順延の場合は、翌日22日(金)となります。

労災保険特別加入のお知らせ

労災保険(労働者災害補償保険)とは、一般の会社や工場などに雇われている労働者が、仕事中にケガや病気をした場合に補償される制度。加入義務のない農家の方も、一定の要件のもとに「特別加入」という形で任意加入できます。

◎当JAでは以下の2種類の作業従事者を対象に加入事務を行っています。

指定農業機械作業従事者

- ①動力耕耘機・その他の農業用トラクター
- ②動力溝掘機
- ③自走式田植機
- ④自走式防除用機
- ⑤自走式動力刈取機・自走式収穫用機械
- ⑥トラック・自走式運搬用機械
- ⑦動力脱穀機や動力草刈機などの定置式または携帯式機械

特定農作業従事者

- 年間の農業生産物総販売額が300万円以上または、経営耕地面積2ヘクタール以上の規模の方で、次に示す農作業に従事している方。
- ①トラクターなどの農業機械を使用する作業
- ②2メートル以上の高所での作業
- ③サイロなどの酸欠の危険がある作業
- ④農薬散布
- ⑤牛・馬・豚に接触する作業

◎加入申込…加入範囲や保険料、補償の内容等の詳細は、お近くの営業センター・農業課または本店営農企画課(TEL: 0282-20-8828)へお問い合わせください。

申込締切:3月18日(水)

JAしちつけ 年金相談会のご案内



年金についての疑問・質問に、専門の社会保険労務士が無料でご相談をお受けします。

日 時 令和2年3月29日(日)

9:00~15:00

会 場 岩舟支店

ご相談にお見えの際は下記のものを持参ください。

年金証書 年金手帳 印鑑

その他、年金に関する資料をお持ちいただければ、より具体的な相談ができます。

詳しくは、
支店窓口まで
お問い合わせ
ください。

栃木駅前支店: 0282-20-8821
栃木東支店: 0282-27-2525
栃木西支店: 0282-31-1794
都賀支店: 0282-27-5611
壬生支店: 0282-82-1111
大平支店: 0282-43-2344
藤岡支店: 0282-62-4333
岩舟支店: 0282-55-3333

農林年金の 特例一時金を お支払いいたします

令和2年4月1日の農林年金改正法の施行日以降、対象者全員に特例一時金をお支払いして農林年金のお支払いは終了します。



農林年金に住所登録がないとお届けできません

*対象者には農林年金から特例一時金のお支払いのご案内をお送りいたします。

お心当たりがある方、こちらまでご連絡をお願いします。

連絡窓口 農林年金 管理機関課

03-6811-0550

農林漁業団体職員共済組合(農林年金) <https://www.norin-nenkin.or.jp/>

3月

今月の おつ！楽しみ

このコーナーでは、地域で活躍する皆さんの紹介や大好評「クイズコーナー」、広報誌の編集担当者がチラッと語らせてもらう編集後記をお送りいたします。



ゴミ拾い作業に臨む参加者

地元地域の美化につなげようと、JAしまつけと行政、地元の飲食店、栃木シティフィットボールクラブの選手など11団体とボランティア約60人が2月19日、栃木市岩舟町のみかも山東側の道路約1200メートル区間で清掃活動を行いました。

清掃活動は、とちぎ花センターと栃木市の共催で初めて実施。美しい街づくりを進めて、観光地としての魅力を高める目的です。

参加者は、ゴミ拾いトングとゴミ袋を手に黙々と空き缶や空きビン、ペットボトルやビニールゴミなどを拾い集めました。

地元地域の美化へ

／とちぎ花センターと

市との共催で初開催

まちがい探し



出題●イラスト：酒井栄子



右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探ししましょう。

2月号
クロスワードパズルの答え

A B C D E F
チ ョ コ レ ー ト

「読者からのお便り」「まちがい探し(クロスワードパズル)」へのご参加お待ちしています

お便りをいただいた方に抽選でステキな商品を差し上げます。ハガキ・封書での郵送、ファックス、Eメール、あるいはJA職員にお渡しください。締切は毎月20日(20日が土・日・祝日の場合は、その次の営業日)必着。なお、感想やコメントは『読者からのお便り』に使用する場合がありますので、ご了承の上ご応募ください。

2月号の当選者

2月号の当選者は次の3名様です。おめでとうございます。

鈴木和代さん(都賀)、野尻節子さん(藤岡)、栗原奈緒さん(岩舟)

【あて先】
〒328-0053 栃木市片柳町2-1-44
JAしまつけ総務課 広報係

【FAX】0282(24)7882

【Eメール】hp-info@ja-shimotsuke.or.jp

①「おたのしみコーナー」の答え

②「読者のお便り」へのコメントや広報誌の感想、最近思う事

③郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号をお忘れなく

編集
後記

現在、日本全国で新型肺炎が猛威を振るっています。不要不急の外出を控え、手洗いうがいの徹底、十分な睡眠と栄養摂取で身体を健康に保ち、未曾有の脅威を乗り切りましょう。

(編集担当M)